2023年2月28日現在

月次レポート

ICJ GOLD

追加型投信/国内/資産複合

Capital Asset Management

商 品 概 要

商　品　分　類	追加型投信／国内／株式
投　資　対　象	当ファンドは、ファミリーファンド方式により、日本の金融商品取引所に上場している株式等と金上場投信（金ETF）を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
設　定　日	2022年3月15日
信　託　期　間	2022年3月15日(設定日）から2032年3月15日まで
決　算　日	年1回。原則、3月15日（休業日の場合は翌営業日）

ファンドの状況

基 準 価 額	
基　準　日	2023年2月28日
基準価額	10,015 円
前月比	+40 円
純資産総額	0.10 億円
前月比	-0.03 億円

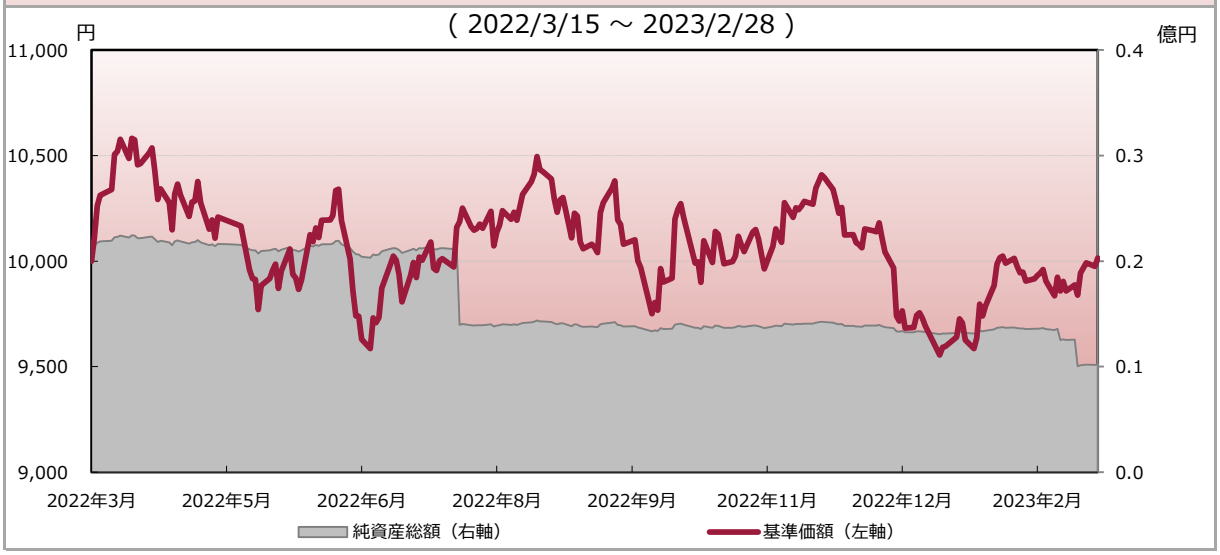
期 間 収 益	
1 ヵ 月	0.4%
3 ヵ 月	-2.1%
6 ヵ 月	-1.9%
1　　年	–
設 定 来	0.2%

※ ファンドの期間収益は、収益分配金（税引前）を再投資したと仮定して計算した理論上のものである点にご留意下さい。

資　産　構　成	
知的資本日本株マザーファンド	64.9%
金ETF	0.0%
現金・その他	35.1%
合計	100.0%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

基準価額・純資産総額の推移等



記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

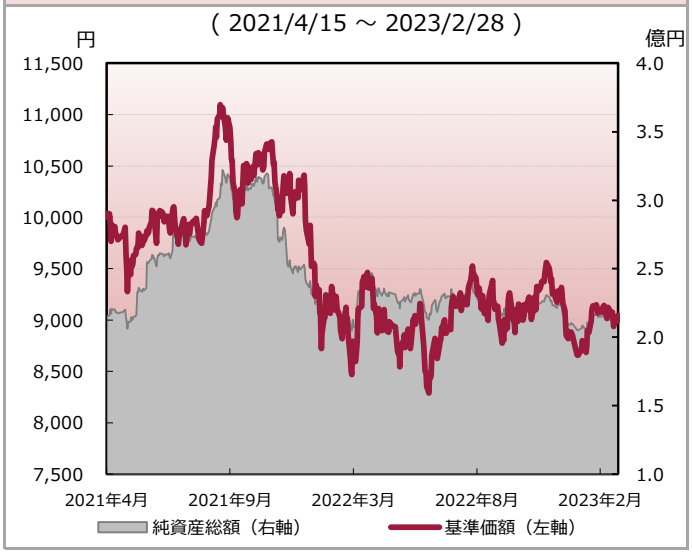
ICJ GOLD

追加型投信/国内/資産複合

Capital Asset Management

投資先：知的資本日本株マザーファンド（2021年4月15日設定）の状況

基準価額・純資産総額の推移（設定来）



現 状	
基 準 日	2023年2月28日
基準価額	9,044 円
前月比	-72 円
純資産総額	2.10 億円
前月比	-0.06 億円

期間収益	
1ヵ月	-0.8%
3ヵ月	-3.5%
6ヵ月	-2.1%
1 年	0.1%
設定来	-9.6%

資産構成	
国 内 株 式	89.0%
株価指数先物	10.4%
現 金 ・ そ の 他	0.6%
合 計	100.0%

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組入銘柄数
94

業種構成比	
業 種	組入比率
情報・通信業	19.0%
電 気 機 器	11.8%
医 薬 品	9.3%
化 学	9.3%
サ ー ビ ス 業	9.2%
小 売 業	7.8%
食 料 品	7.2%
精 密 機 器	5.1%
そ の 他	21.3%
合 計	100.0%

※ 業種は東証33業種分類に準拠しています。

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

組 入 銘 柄 上 位 10 銘 柄

銘 柄 名	業 種	組入比率
安 川 電 機	電 気 機 器	1.3%
ベ イ カ レ ン ト コ ン サ ル テ ィ ン グ	サ ー ビ ス 業	1.3%
栗 田 工 業	機 械	1.2%
ア シ ッ ク ス	そ の 他 製 品	1.2%
ジ ャ パ ン マ テ リ ア ル	サ ー ビ ス 業	1.2%
ゴ ー ル ド ウ イ ン	繊 維 製 品	1.1%
ダ イ キ ン 工 業	機 械	1.1%
朝 日 イ ン テ ッ ク	精 密 機 器	1.1%
フ ァ ナ ッ ク	電 気 機 器	1.1%
日 油	化 学	1.1%
	合 計	11.7%

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

ICJ GOLD

追加型投信/国内/資産複合

Capital Asset Management

マンスリーコメント

■国内株式市場

月初、国内株式市場は、米国での雇用関連の指標やFOMC後のパウエル議長の会見などを材料に、早期利上げ停止が近いとの見方からグロース株中心に買いが入りましたが、次期日銀総裁人事に対する不透明感や為替が円高に推移したことなどから上値の重い展開となりました。その後、次期日銀総裁を雨宮氏に打診したとの報道から金融緩和継続との期待が高まり、円安・株高の材料となる一方、米国雇用統計やISM非製造業指数など強い経済指標から米国の早期利上げ停止期待の後退から高グロース株中心に売り圧力もあり、一進一退の推移となりました。月中は、次期日銀総裁として植田氏が国会に提示されるとの報道が出ると、金融政策の急激な引締めが懸念されましたが、金融緩和の継続方針を示したこともあり、ドル円は月末にかけて136円まで円安が進み、業績改善期待から株高要因となりましたが、米国のCPIや小売売上高の強い結果から金融引き締め長期化懸念が上値を抑制し、国内株式は狭いレンジでの推移となり、TOPIXは1,993.28ポイント（前月末比+0.91%）の上昇で終えました。

■運用状況

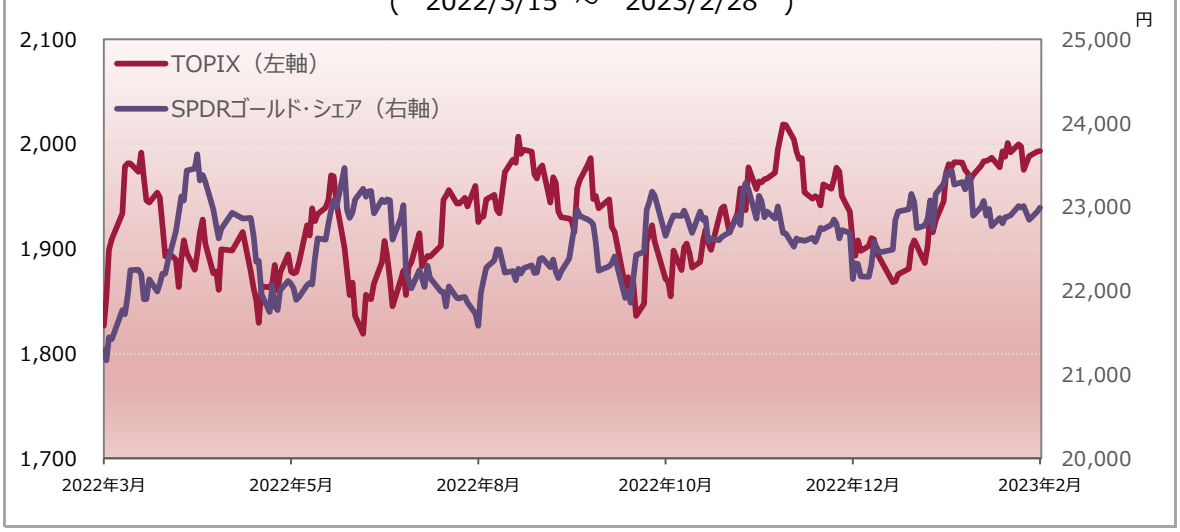
当ファンドは3月14日にて繰上償還が決定いたしました。長きに亘りファンドへご投資いただきどうもありがとうございました。

当ファンドが組み入れている知的資本日本株マザーファンドは、2月も基本方針に沿った運用を継続しました。当月末の同マザーファンドの基準価額は9,044円（前月末比▲0.8%）となりました。金ETFのSPDRゴールド・シェアにつきましては、償還決定後速やかに売却しております。

当ファンドの当月末の基準価額は10,015円（同+0.4%）となりました。

（ご参考）東証株価指数TOPIX と SPDRゴールド・シェア

（ 2022/3/15 ～ 2023/2/28 ）



出所：ブルームバーグのデータを基にキャピタル アセットマネジメントが加工して作成

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

ICJ GOLD

追加型投信/国内/資産複合

Capital Asset Management

ファンドの特色

■ 知的資本日本株マザーファンドを通じて日本株式等に投資することで収益の確保を目指しつつ、金上場投信（金ETF）に直接投資することでリスク低減効果が期待できます。

■ 知的資本日本株マザーファンドの受益証券と金上場投信（金ETF）への投資割合は、知的資本日本株マザーファンドの受益証券に75%、金上場投信（金ETF）に25%を中心とします。

■ 日本株式等についてはファミリーファンド方式を採用し、実質的な運用は知的資本日本株マザーファンドにおいて行います。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドに係わるリスクについて

当ファンドの基準価額は、主に以下のリスク要因により、変動することが想定されます。

株式の価格変動リスク	当ファンドは、実質的に株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
金上場投信に関する価格変動リスク	金上場投信（金ETF）は、連動目標とする金地金価格の変動の影響を受けます。金市場は、金の需給関係、為替・金利の変動、政府の規制・介入、投機家の参入など様々な要因により変動します。金地金の価格が下落する場合、金上場投信の価格は下がり、ファンドに損失が生じるリスクがあります。なお、円建ての金上場投信（金ETF）に投資するため米ドルに対する為替変動リスクが包含されています。
信用リスク	株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク	解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

ICJ GOLD

追加型投信/国内/資産複合

Capital Asset Management

お客様にご負担いただく費用

①お申込時に直接ご負担いただく費用
■購入時手数料：ありません
②ご解約時に直接ご負担いただく費用
■信託財産留保額：換金申込受付日の基準価額に対して**0.1%**
③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用
■信託報酬：信託財産の純資産総額に対して年率**2.255%（税抜2.05%）**
■その他の費用：有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等
※上記の費用（手数料等）の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することができません。
※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】
1.当ファンドは、知的資本日本株マザーファンドへの投資を通じて、実質的に日本の金融商品取引所に上場する企業の株式および金上場投信（金ETF）など値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入しておりません。
2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。
4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

委託会社その他関係法人の概要

■委託会社： 信託財産の運用業務等を行います。
キャピタル アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者関東財務局長（金商）第383号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会/ 一般社団法人日本投資顧問業協会
■受託会社： 信託財産の保管・管理業務等を行います。
三井住友信託銀行株式会社
■販売会社

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第62号	○			○

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。